

ティーチング・ポートフォリオ

日本国際学園大学 経営情報学部 ビジネスデザイン学科
谷本 茂明

教育の責任

科目名	対象 学年	受講 人数*	授業 形態	必修 選択	科目区分 (カリキュラムにおける 位置づけ)
情報倫理 (留学生) ①②	1	25	講・演	必修	
情報倫理 (留学生) ③	1	16	講・演	必修	
実務プログラミング	3	1	講・演	選択	
情報・デザイン特論 B	3	6	講・演	選択	情報・デザイン専攻推奨科目
情報デザイン特論 II	3		講・演	選択	情報・デザイン専攻推奨科目
情報と社会 (留学生) ①②	1		講・演	必修	
情報と社会 (留学生) ③	1		講・演	必修	
情報活用と危機管理	2		講・演	必修	情報・デザイン専攻必修科目
アルゴリズム	2		講・演	必修	情報・デザイン専攻必修科目

※受講人数は過去の実績による平均受講人数

教育の理念

学生が幅広い視野を持って自ら問題を発見し、解決する力を育む場を提供し、本学の教育理念を具現化して、これからのグローバル社会を支える有為な人材を育成することである。特に、学生が知的好奇心を大切にし、将来の夢を叶えられるように、豊かな教養を身につけ、継続して成長できるような指導を心がけている。

教育の方法

一般に学生が集中できる時間は 15 分単位であると言われていることから、授業内容を 15 分単位で組み立てている。例えば、プログラミングなどの演習が中心の授業では、15 分講義と 15 分演習を基本としている。また、情報倫理などの講義が中心となる授業では、授業終了時に、出席を兼ねた振り返りシート (5 ミニッツレポート) に授業で理解できた点、理解できなかった点、質問などを記入させている。質問の回答は、学生が疑問を抱いたその日のうちに、Google Classroom にアップするよう心掛けている。さらに、次の週の講義の最初に、振り返りシートの質問内容を中心に復習を行い、学生が効率よく学習できるよう努めている。

教育の成果 および 今後の目標

授業アンケート調査結果 (中間評価) では、情報倫理などの講義について、「授業で分からなかったことは、当日グーグルクラスルームに答えを投稿してくれます。それが効果的だと思います」などのコメントが記されており、5 ミニッツレポートの有効性が確認できた。プログラミングなどの演習系の講義についても、「演習形式であるが、問題をただ解くのではなく、自分でこのプログラムのどこを変えるか、こういう風にするにはどうするかを考える授業なのが良かった」、「演習が多く説明もわかりやすいと感じた」、などのコメントがあり、概ね狙い通りの結果が得られていると思われる。

今後は、さらに小テストなどを実施し、知識の定着の強化を図りたいと考えている。また、ITパスポート試験や情報セキュリティマネジメント試験の問題も講義内で紹介し、学生の資格取得への関心を高め、将来の就職活動にも役立てられるよう働きかけていく予定である。

参考資料